

有害プランクトン情報 (令和元年度 - No. 9)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 12月 第1回 内湾 (8地点) 12/3,4 内房 (7地点) 12/4
12月 第2回 内湾 (8地点) 12/24
貝類漁場内 九十九里 12/4,22

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150% 以上) は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発生します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、ディノフィシス アキュミナータが 12/3 に船橋で 0.30 細胞/mL でした。なお同種は 10/2 に千葉灯標で 20.55 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス ロツンダータが 12/3 に船橋で 0.20 細胞/mL, ディノフィシス カウダータが 12/3,4 に千葉灯標, 盤洲北, アクア南で 0.05 細胞/mL でした。

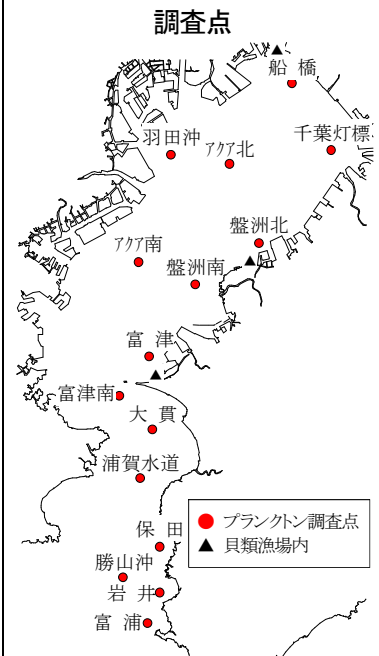
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 12/3,4 内湾 渦鞭毛藻 ケラチウム フルカ
珪藻 スケルトネマ属
- 12/4 内房 珪藻 スケルトネマ属
- 12/24 内湾 珪藻 スケルトネマ属 (図1)



図1 スケルトネマ属
(12/24 盤洲南)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp